# 高知県の環境放射能調査 - 第26報 平成23年度 -

徳橋 慎介・芦田 拓・西山 佳央里\*¹)・鎌倉 温子・植村 多恵子 高宮 真美・宅間 範雄・西森 一誠\*²)

A Survey of the Environmental Radiation in Kochi Prefecture from April 2011 to March 2012

Shinsuke TOKUHASHI, Taku ASHIDA, Kaori NISHIYAMA, Atsuko KAMAKURA, Taeko UEMURA, Masami TAKAMIYA, Norio TAKUMA and Kazuo NISHIMORI

【要旨】 昨年度に引き続き平成23年度も環境放射能水準調査を降水、降下物、蛇口水、土壌、牛乳、農産物(ほうれん草、大根)、かつお及び空間放射線量率の各試料について行った。降下物について、<sup>131</sup> I が6.5MBq/km²、<sup>137</sup>Csが最大34MBq/km²、<sup>134</sup>Csが最大36 MBq/km²検出され、かつお及び土壌(深さ0から5 cm)についても、<sup>134</sup>Csが各0.4Bq/kg、0.88±0.29Bq/kg乾土検出されるなど平成23年3月11日の東日本大震災に伴い発生した福島第一原子力発電所事故の影響が認められた。それ以外の項目については、前年度と比べ、大きな変化は認められなかったが、引き続き、本調査において原子力発電所事故後の環境への放射能の影響を、モニタリングしていくことが必要であると考えられた。なお、原子力発電所事故後空間放射線量率、蛇口水及び降下物(定時降水)についてモニタリングが強化されたが、平成23年12月28日に終了した。

Key words:環境放射能、全β放射能、空間放射線量率、食品 environmental radiation, gross β-activity, absorbed dose rate to air, foods

## はじめに

当所では昭和36年から文部科学省の委託を受けて環境放射能水準調査を行っている。前報まで<sup>1)</sup> に平成22年度までの調査結果を報告した。

今回は、平成23年度の調査結果を報告する。

## 1. 調査方法

# 1.1 試料対象物と採取方法

(1) 降 水

原則として降水翌日の午前9時に前24時間内の降水

を当所屋上(高知市丸ノ内2-4-1、高知県保健衛生総合庁舎)に設置している降水採取装置(受水面積:500 cm²)から採水した。

# (2) 降下物

原則として毎月初めに前月の降下物(降水及び地表に降下するじん埃)を当所屋上に設置している大型水盤(受水面積:5000cm²)から採取した。

(3) 蛇口水

平成23年11月1日に当所3階の蛇口より100Lを採水 した。

# (4) 十 壌

平成23年7月12日に高知市丸ノ内高知城公園内すべり山で土壌採取器(採取面積:191cm²)を用いて0~

5 cm及び5~20cmの深さの試料を採取した。 (平成18から平成21年度までの調査地:高知市筆山公園内)。

## (5) 牛 乳 (原乳)

原乳は平成23年8月3日に高知市円行寺の牧場から 入手した。

#### (6) 農産物

平成23年12月8日に高知市鏡敷ノ山の農家からほう れん草および大根を入手した。

#### (7) かつお

平成23年5月9日に幡多郡黒潮町佐賀の高知県漁協から入手した。

# (8) 空間放射線量率

当所屋上に設置しているモニタリングポストにより 年間を通して24時間の連続測定を行った。

#### 1. 2 試料の調製及び測定装置の種類と測定方法

#### 1. 2. 1 試料の調製

文部科学省が編纂した以下の解説書の方法に従った。

- (1) 放射能測定調查委託実施計画書(平成23年度)
- (2) 文部科学省編「環境試料採取法」(昭和58年版)
- (3) 文部科学省編「ゲルマニウム半導体検出器等を用いる機器分析のための試料の前処理法」(昭和57年版)

#### 1. 2. 2 測定装置の種類等

#### (1) 全β放射能

GM計数装置:アロカ(㈱製 TDC-105及びGM計数台: アロカ(㈱製PS-202Dを用い測定した。

#### (2) γ 線核種分析

Ge半導体検出器:(株SEIKO EG&G社製GEM15-70-Sを用い、測定時間86,400秒(24時間)測定した。

#### (3) 空間線量率

モニタリングポスト:アロカ(株)製MAR-22を用い、測 定した。

## 1. 2. 3 測定方法

文部科学省が編纂した以下の測定法解説書に従った。 (1) 文部科学省「全ベータ放射能測定法」(昭和51年 改訂版)

- (2) 文部科学省編「ゲルマニウム半導体検出器による ガンマ線スペクトロメトリー」(平成2年改訂版)
- (3) 文部科学省編「連続モニタによる空間γ線測定法」 (昭和57年版)

# 2. 測定結果

## 2.1 降水

降水 (90試料) の全 $\beta$ 放射能分析を行い、結果を表 1 に示した。平成23年 4 月18日から 4 月19日及び 5 月20日から 5 月23日までの降水 2 試料から、全 $\beta$  放射能が検出されたが、その他の88試料は検出限界値以下であった。

なお、検出限界は計数値がその係数誤差の3倍以下 とし、検出限界以下をN.Dと表記した(以下の試料に ついても同様。)。

#### 2. 2 降下物

降下物(12試料)の核種分析結果を表 2 に示した。  $^{131}$  I はND  $\sim$  6.5 MBq/km $^2$  、  $^{137}$ Cs はND  $\sim$  34MBq/km $^2$  、  $^{134}$ Cs はND  $\sim$  36MBq/km $^2$  、  $^{40}$  K はND  $\sim$  1.30MBq/km $^2$  、  $^{7}$ Be は 19  $\sim$  410MBq/km $^2$  検出された。

#### 2. 3蛇口水

蛇口水(1試料)の核種分析結果を表3に示した。  $^{137}$ Csは検出されなかった。  $^{40}$ K及び  $^{7}$ Beは各 $9.5\pm1.6$  mBq/L、 $5.8\pm1.1$ mBq/L検出された。

# 2.4 生 壌

土壌(2試料)の核種分析結果を表4に、放射能濃度を図1に示した。

 $^{137}$ Csは $0\sim5$ cm及び $5\sim20$ cmの土壌から各 $10\pm0.51$ Bq/kg乾土、 $11\pm0.52$ Bq/kg乾土、検出された。 $^{134}$ Csは $0\sim5$ cmの土壌で $0.88\pm0.29$ Bq/kg乾土検出され、 $5\sim20$ cmの土壌では検出されなかった。 $^{40}$ Kは $0\sim5$ cm及び $5\sim20$ cmの土壌から各 $350\pm10.0$ Bq/kg乾土、 $390\pm11.0$ Bq/kg乾土、検出された。 $^{7}$ Beは検出されなかった。

## 2.5 牛 乳 (原乳)

原乳 (1試料) について核種分析及び全 $\beta$  放射能分析結果を表5 に、放射能濃度を図2 に示した。

 $^{40}$ Kは49±1.1Bq/L、全 $\beta$ 放射能は44±1.6Bq/L検出された。 $^{131}$ I, $^{137}$ Cs及び $^{7}$ Beは検出されなかった。

#### 2.6 農産物

ほうれん草、大根(各1試料)の核種分析及び全 $\beta$ 放射能分析の結果を表6に、放射能濃度を図3に示した。

 $^{137}$ Cs及び  $^{7}$ Beは大根、ほうれん草ともに検出されなかった。 $^{40}$ Kは大根、ほうれん草で各92±0.64Bq/kg 生、 $210\pm1.3$ Bq/kg生検出された。全 $\beta$ 放射能は大根から89±2.0Bq/kg生、ほうれん草から173±5.0Bq/kg 生検出された。

#### 2.7 かつお

かつお(1 試料)の核種分析及び全 $\beta$  放射能分析結果を表7 に、放射能濃度を農産物に加えて図3 に、平成2 年からの $^{137}$ Csの経年変化を図4 に示した。

 $^{137}$ Csは $0.60\pm0.018$ Bq/kg生、 $^{134}$ Csは $0.40\pm0.016$ Bq/kg生  $^{40}$ Kは $130\pm0.85$ Bq/kg生、全 $\beta$ 放射能は $120\pm4.0$ Bq/kg生検出され、 $^{7}$ Beは検出されなかった。

採取年により魚歳、魚体に相違はあるものの<sup>137</sup>Csは前年度と比較して増加していた。<sup>134</sup>Csは調査開始より初めて検出された。

## 2.8 空間放射線量率

モニタリングポストによる空間放射線量率を表8に、 それらの日間変動を図5に示した。

モニタリングポストによる空間放射線量率は24時間連続測定のため、表8では月間の最小値、最大値、平均値を示した。最大値は比較的大きな変動を示したものの、最小値及び平均値の変動は小さくほぼ一定の値を示した。日間変動は、最大値が降水の影響を受けることが多かった。

## 3. まとめ

昨年度に引き続き平成23年度も環境放射能水準調査

を降水、降下物、蛇口水、土壌、牛乳、農産物、かつ お及び空間線量率の各試料について行った。

降水では平成23年4月18日から4月19日まで及び5月20日から5月23日までの2試料から、全 $\beta$ 放射能が検出されたが、その他の88試料は検出限界値以下であった。

降下物では、4月分の試料から <sup>131</sup> I が、4月から7 月の4ヵ月分について <sup>137</sup>Cs及び <sup>134</sup>Csが検出された。自 然放射性核種の <sup>40</sup> K及び <sup>7</sup>Beについても検出された。

蛇口水では、 $^{137}$ Csは検出されなかったが、 $^{40}$ K及び $^{7}$ Beは検出された。 土壌では $^{137}$ Cs、 $^{134}$ Cs、自然放射性核種( $^{40}$ K、トリウム系列及びウラン系列)及び全 $^{26}$ 放射能が検出された。各種食品で、 $^{137}$ Cs及び $^{124}$ Csはかつおのみ検出され、 $^{40}$ Kは全ての試料から検出され、 $^{7}$ Beは全ての試料から検出されなかった。牛乳試料では、 $^{131}$ Iは検出されなかった。かつお中の $^{137}$ Cs濃度量は前年度と比べ増加し、 $^{134}$ Csも検出されたことは、原子力発電所事故の影響が考えられる。モニタリングポストによる空間線量率は前年度と比べ、大きな変化は認められなかった。

以上の結果より、平成23年度の本県の環境放射能レベルは、福島第一原子力発電所事故の影響もみられたが、前年度とほぼ同じ水準を示していた。

今後も、福島第一原子力発電所事故後の影響も含めた環境放射能の調査を継続して実施していく予定である。

## 文 献

1) 中村秋香、麻岡文代、宅間範雄、間﨑睦、近澤紘 史ら:高知県における放射能調査 第1-25報. 高知県衛研報, 33-57, 1987-2011.

表1 降水の全β放射能分析

試料 採取   採取   採取   作水量   (mm)   (hr)   (ml)   (kg)   (k	降下量 (MBq/km²) N. D N. D 35. 8 ± 3. 1 N. D N. D N. D N. D
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	N. D N. D 35. 8 ± 3. 1 N. D N. D N. D N. D N. D
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	N. D 35. 8 ± 3. 1 N. D N. D N. D N. D N. D
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	35. 8 ± 3. 1 N. D N. D N. D N. D N. D
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	N. D N. D N. D N. D N. D
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	N. D N. D N. D N. D
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	N. D N. D N. D
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	N. D N. D
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	N.D
23009 11.05.10 1.1 7.7 55 10,448 $\pm$ 46 30.1 $\pm$ 1.0 7.9 $\pm$ 25.6 N.D 23010 11.05.11 12.4 6.1 300 10,455 $\pm$ 46 29.5 $\pm$ 1.0 2.4 $\pm$ 4.7 N.D	
23010 11.05.11 12.4 6.1 300 10,455 $\pm$ 46 29.5 $\pm$ 1.0 2.4 $\pm$ 4.7 N.D	N. D
	N. D
23011 11.05.12 52.2 6.9 300 10,760 $\pm$ 46 29.4 $\pm$ 1.0 11.4 $\pm$ 4.8 N.D	N. D
23012 11.05.13 5.1 78.8 253 10,519 $\pm$ 46 28.1 $\pm$ 1.0 4.9 $\pm$ 5.5 N.D	N. D
23013 11.05.23 32.8 6.1 300 10,393 $\pm$ 46 28.2 $\pm$ 1.0 15.6 $\pm$ 4.8 0.7 $\pm$ 0.23	$24.6 \pm 7.5$
23014 11.05.24 34.7 6.3 300 10,569 $\pm$ 46 29.7 $\pm$ 1.0 6.8 $\pm$ 4.8 N.D	N. D
23015 11.05.27 6.0 6.3 300 10,495 $\pm$ 46 28.1 $\pm$ 1.0 2.2 $\pm$ 4.6 N.D	N. D
23016 11.05.30 195.7 6.1 300 10,502 $\pm$ 46 26.9 $\pm$ 0.9 7.4 $\pm$ 4.6 N.D	N. D
23017 11.06.02 5.2 30.5 258 10,432 $\pm$ 46 28.8 $\pm$ 1.0 8.5 $\pm$ 5.5 N.D	N. D
23018 11.06.06 6.0 30.1 300 10,461 $\pm$ 46 28.7 $\pm$ 1.0 4.8 $\pm$ 4.7 N.D	N. D
23019 11.06.07 3.4 30.0 168 10,346 ± 46 27.8 ± 1.0 8.3 ± 8.2 N.D	N. D
23020 11.06.08 13.4 6.7 300 10,346 ± 46 27.5 ± 1.0 4.3 ± 4.6 N.D	N. D
23021 11.06.13 129.1 6.8 300 10,435 ± 46 26.4 ± 0.9 5.8 ± 4.5 N.D	N. D
23022 11.06.16 35.9 6.2 300 10,340 $\pm$ 46 29.2 $\pm$ 1.0 4.9 $\pm$ 4.7 N.D	N. D
23023 11.06.17 25.5 6.5 300 10,359 $\pm$ 46 28.9 $\pm$ 1.0 2.2 $\pm$ 4.7 N.D	N. D
23024 11.06.20 92.7 6.0 300 10,466 ± 46 28.8 ± 1.0 1.8 ± 4.6 N.D	N. D
23025 11.06.21 23.6 6.0 300 10,399 $\pm$ 46 27.4 $\pm$ 1.0 6.2 $\pm$ 4.6 N.D	N. D
23026 11.06.27 58.3 6.6 300 10,370 $\pm$ 46 27.2 $\pm$ 1.0 1.3 $\pm$ 4.5 N.D	N. D
23027 11.06.28 9.4 6.0 300 10,461 $\pm$ 46 28.8 $\pm$ 1.0 1.4 $\pm$ 4.6 N.D	N. D
23028 11.07.01 21.4 6.0 300 10,444 $\pm$ 46 27.7 $\pm$ 1.0 2.0 $\pm$ 4.6 N.D	N. D
23029 11.07.04 4.5 28.2 225 10,312 $\pm$ 45 29.0 $\pm$ 1.0 1.6 $\pm$ 6.2 N.D	N. D
23030 11.07.05 22.8 6.0 300 10,312 $\pm$ 45 28.4 $\pm$ 1.0 5.0 $\pm$ 4.6 N.D	N. D
23031 11.07.07 28.0 6.0 300 10,335 $\pm$ 46 28.8 $\pm$ 1.0 9.1 $\pm$ 4.7 N.D	N. D
23032 11.07.11 3.2 6.0 162 10,452 $\pm$ 46 28.5 $\pm$ 1.0 2.3 $\pm$ 8.5 N.D	N. D
23033 11.07.12 3.9 31.0 194 10,339 $\pm$ 46 27.8 $\pm$ 1.0 2.9 $\pm$ 7.0 N.D	N. D
23034 11.07.19 131.2 6.8 300 10,297 $\pm$ 45 28.6 $\pm$ 1.0 1.9 $\pm$ 4.6 N.D	N. D
23035 11.07.20 62.4 6.2 300 10,223 $\pm$ 45 29.0 $\pm$ 1.0 0.8 $\pm$ 4.6 N.D	N.D
23036 11.07.22 11.6 6.0 300 10,366 $\pm$ 46 28.5 $\pm$ 1.0 12.2 $\pm$ 4.7 N.D	N.D
23037 11.07.25 6.0 6.3 300 10,332 $\pm$ 46 27.0 $\pm$ 0.9 1.2 $\pm$ 4.5 N.D	N. D
23038 11.07.27 10.0 6.0 300 10,348 ± 46 27.9 ± 1.0 5.2 ± 4.5 N.D	N. D
23039 11.07.28 8.8 6.0 300 10,265 $\pm$ 45 28.3 $\pm$ 1.0 0.7 $\pm$ 4.6 N.D	N. D
23040 11.08.01 6.6 30.2 300 10,337 ± 46 28.4 ± 1.0 4.8 ± 4.6 N.D	N. D
23041 11.08.02 7.0 30.0 300 10,413 $\pm$ 46 28.6 $\pm$ 1.0 4.4 $\pm$ 4.7 N.D	N. D
23042 11.08.04 1.4 27.4 68 10,407 $\pm$ 46 28.1 $\pm$ 1.0 33.8 $\pm$ 20.5 N.D	N. D
23043 11.08.08 20.7 6.1 300 10,133 ± 45 28.2 ± 1.0 2.3 ± 4.5 N.D	N. D
23044 11.08.16 10.0 6.0 300 10,184 $\pm$ 45 28.5 $\pm$ 1.0 4.0 $\pm$ 4.5 N.D	N.D
23045 11.08.19 1.0 77.3 51 10,101 $\pm$ 45 29.5 $\pm$ 1.0 3.3 $\pm$ 27.5 N.D	N.D
23046 11.08.22 3.4 29.7 172 10,418 $\pm$ 46 28.8 $\pm$ 1.0 8.5 $\pm$ 8.2 N.D	N.D
23047 11.08.23 5.6 28.8 278 10,276 $\pm$ 45 27.9 $\pm$ 1.0 7.6 $\pm$ 5.0 N.D	N.D
23048 11.08.25 8.7 125.4 300 10,201 $\pm$ 45 28.4 $\pm$ 1.0 4.4 $\pm$ 4.5 N.D	N.D
23049 11.08.26 13.6 102.5 300 10,202 $\pm$ 45 27.7 $\pm$ 1.0 0.9 $\pm$ 4.5 N.D	N. D
23050 11.09.02 18.2 6.0 300 10,290 $\pm$ 45 27.9 $\pm$ 1.0 0.3 $\pm$ 4.5 N.D	N. D

表1 降水の全β放射能分析

試料	採取	降水量	測定迄	供試量	比較試料計数率	バックグラウンド	試量計数率	放:	 射能
番号	年月日	(mm)	の時間	(ml)	(除BG)	計数率	(除BG)	濃度	降下量
			(hr)		(cpm)	(cpm)	(cpm/l)	(Bq/1)	(MBq/km <sup>2</sup> )
23051	11.09.05	161.4	6.5	300	$10,225 \pm 45$	$27.2 \pm 1.0$	$5.4 \pm 4.6$	N. D	N. D
	11.09.12	8.4	6.1	300	$10,103 \pm 45$	$30.7 \pm 1.0$	$0.4 \pm 4.8$	N. D	N. D
23053	11.09.20	310.3	6.0	300	$10,081 \pm 45$	$28.7 \pm 1.0$	$0.1 \pm 4.6$	N. D	N. D
23054	11.09.21	66.2	6.1	300	$10,238 \pm 45$	$29.3 \pm 1.0$	$6.1 \pm 4.6$	N. D	N. D
23055	11.09.26	3.1	30.2	154	$10,152 \pm 45$	$26.7 \pm 0.9$	$4.1 \pm 8.7$	N. D	N. D
23056	11.10.06	28.1	30.3	300	$9,996 \pm 45$	$27.9 \pm 1.0$	$1.3 \pm 4.6$	N. D	N. D
23057	11.10.13	1.3	27.5	67	$10,158 \pm 45$	$29.2 \pm 1.0$	$16.4 \pm 21.0$	N. D	N. D
23058	11.10.14	13.1	6.5	300	$10,160 \pm 45$	$27.4 \pm 1.0$	$7.4 \pm 4.6$	N. D	N. D
23059	11.10.17	53.5	6.3	300	$10,101 \pm 45$	$26.9 \pm 0.9$	$1.6 \pm 4.5$	N. D	N. D
23060	11.10.24	74.3	6.0	300	$10,060 \pm 45$	$27.3 \pm 1.0$	$5.2 \pm 4.4$	N. D	N. D
23061	11.10.31	3.8	30.1	188	$10,459 \pm 46$	$27.8 \pm 1.0$	$3.4 \pm 7.3$	N. D	N. D
23062	11.11.07	34.3	6.3	300	$10,927 \pm 47$	$28.8 \pm 1.0$	$0.1 \pm 4.6$	N. D	N. D
23063	11.11.18	2.3	97.7	114	$10,905 \pm 47$	$28.3 \pm 1.0$	$12.0 \pm 12.2$	N.D	N. D
23064	11.11.21	181.1	26.7	300	$10,904 \pm 47$	$29.7 \pm 1.0$	$5.6 \pm 4.8$	N.D	N. D
23065	11.11.24	1.7	28.3	84	$10,968 \pm 47$	$26.3 \pm 0.9$	$32.9 \pm 16.2$	N. D	N. D
23066	11.12.05	37.0	6.8	300	$10,957 \pm 47$	$28.9 \pm 1.0$	$6.9 \pm 4.7$	N. D	N. D
23067	11.12.08	5.2	29.2	260	$10,946 \pm 47$	$27.9 \pm 1.0$	$5.9 \pm 5.3$	N. D	N. D
23068	11.12.09	8.5	7.3	300	$10,947 \pm 47$	$27.1 \pm 1.0$	$4.7 \pm 4.5$	N. D	N. D
23069	11.12.14	2.1	52.6	106	$10,987 \pm 47$	$29.9 \pm 1.0$	$-15.7 \pm 13.1$	N. D	N. D
23070	12.01.17	2.4	6.0	118	$11,023 \pm 47$	$30.3 \pm 1.0$	$-8.2 \pm 11.9$	N. D	N. D
23071	12.01.20	26.2	6.1	300	$10,926 \pm 47$	$28.9 \pm 1.0$	$6.4 \pm 4.7$	N. D	N. D
23072	12.01.23	4.6	6.2	230	$11,033 \pm 47$	$29.4 \pm 1.0$	$4.2 \pm 6.1$	N. D	N. D
23073	12.02.06	7.5	7.1	300	$10,905 \pm 47$	$29.3 \pm 1.0$	$12.2 \pm 4.8$	N. D	N.D
23074	12.02.07	34.4	6.0	300	$10,913 \pm 47$	$29.3 \pm 1.0$	$1.8 \pm 4.7$	N. D	N. D
23075	12.02.14	16.9	6.5	300	$10,963 \pm 47$	$29.1 \pm 1.0$	$4.3 \pm 4.7$	N. D	N.D
23076	12.02.15	12.8	6.0	300	$10,909 \pm 47$	$29 \pm 1.0$	$1.0 \pm 4.7$	N. D	N.D
23077	12.02.16	3.7	6.1	187	$10,953 \pm 47$	$31.5 \pm 1.0$	$7.8 \pm 7.7$	N.D	N. D
23078	12.02.22	3.4	6.0	172	$11,024 \pm 47$	$29.7 \pm 1.0$	$8.5 \pm 8.3$	N.D	N. D
23079	12.02.23	52.8	6.1	300	$10,895 \pm 47$	$28.7 \pm 1.0$	$17.0 \pm 4.8$	N.D	N. D
23080	12.02.27	6.0	6.0	300	$10,872 \pm 47$	$29.1 \pm 1.0$	$0.4 \pm 4.7$	N.D	N. D
23081	12.02.29	20.0	6.0	300	$10,851 \pm 47$	$28.3 \pm 1.0$	$3.8 \pm 4.6$	N.D	N. D
	12.03.02	13.7	6.1	300	$10,935 \pm 47$	$29.2 \pm 1.0$	$3.9 \pm 4.7$	N.D	N. D
	12.03.05	42.2	6.0	300	$10,862 \pm 47$	$30.3 \pm 1.0$	$4.2 \pm 4.8$	N.D	N. D
	12.03.06	18.0			$10,943 \pm 47$	$28.8 \pm 1.0$	$2.2 \pm 4.6$	N.D	N. D
	12.03.09	7.6	6.0		$10,995 \pm 47$	$29.3 \pm 1.0$	$3.6 \pm 4.7$	N.D	N. D
	12.03.12	9.0			$10,933 \pm 47$	$30.0 \pm 1.0$	$2.9 \pm 4.7$	N.D	N. D
	12.03.19	40.6			$10,899 \pm 47$	$29.4 \pm 1.0$	$8.0 \pm 4.8$	N. D	N. D
	12.03.23	34.0	7.3		$10,944 \pm 47$	$30.5 \pm 1.0$	$1.2 \pm 4.8$	N. D	N. D
	12.03.26	18.4	6.3		$10,908 \pm 47$	$29.2 \pm 1.0$	$2.1 \pm 4.7$	N. D	N. D
	12.04.02	14.8			$10,972 \pm 47$	$28.6 \pm 1.0$	$2.7 \pm 4.6$	N. D	N. D

表2 降下物

	採取	降水量	採取量		月間	間降下量(MBq/k	m <sup>2</sup> )	
試料番号	年月日	mm mm	L	I-131	Cs-137	Cs-134	K-40	Be-7
10198	11.05.02	205.6	67.5	$6.5 \pm 0.46$	$34 \pm 0.20$	$36 \pm 0.21$	$1.30 \pm 0.27$	$410 \pm 2.1$
10253	11.06.01	349.8	126.3	N. D	$1.4 \pm 0.046$	$1.4 \pm 0.045$	N.D	$200 \pm 1.9$
10406	11.07.01	423.9	181.3	N. D	$0.21 \pm 0.024$	$0.21 \pm 0.026$	N.D	$220 \pm 1.5$
10593	11.08.01	329.5	99.0	N. D	$0.19 \pm 0.022$	$0.19 \pm 0.023$	N.D	$130 \pm 1.1$
10652	11.09.01	71.4	3.6	N. D	N. D	N.D	N.D	$37 \pm 0.55$
10769	11.09.30	567.6	227.7	N. D	N. D	N.D	N.D	$100 \pm 0.94$
10848	11.11.01	174.1	58.8	N. D	N. D	N.D	N.D	$86 \pm 0.87$
10934	11.12.01	219.4	109.1	N. D	N. D	N.D	N.D	$200 \pm 1.3$
10964	12.01.04	52.8	23.8	N. D	N.D	N. D	$0.62 \pm 0.19$	$19 \pm 0.38$
10980	12.02.01	33.2	17.6	N. D	N.D	N. D	N. D	$20 \pm 0.37$
10989	12.03.01	157.5	65.0	N. D	N. D	N.D	$0.72 \pm 0.20$	$100 \pm 0.83$
122007	12.04.02	198.3	69.6	N. D	N. D	N. D	N. D	$240 \pm 1.2$

# 表3 蛇口水

試料番号	採取	取 水温		蒸発残留物 _	放 射 能 濃 度		(mBq/L)	
武件 留 与	年 月 日	$^{\circ}$	pН	mg/L	Cs-137	K-40	Be-7	
10860	11.11.01	20	7.9	141	N. D	$9.5 \pm 1.6$	$5.8 \pm 1.1$	

# 表4 土 壌

試料番号	採取	深さ	採取面積	採取全量	乾燥細土	放	射 能 濃	度(Bq/kg 乾	主土)
武作笛 夕	年 月 日	cm	Cm <sup>2</sup>	g	g	Cs-137	Cs-134	K-40	Ве-7
10452	11.07.12	$0 \sim 5$	191	1,395	505	$10 \pm 0.51$	$0.88 \pm 0.29$	$350 \pm 10$	N. D
10428	11.07.12	$5 \sim 20$	191	4,118	1367	$11 \pm 0.52$	N. D	$390 \pm 11$	N. D

# 表5 牛乳(原乳)

試料番号	採取		放 射	計 能 濃 度(	(Bq/L)	
武科 <b>省</b> 万	年 月 日	I-131	Cs-137	K-40	Be-7	全 β
10515	11.08.03	N. D	N. D	$49 \pm 1.1$	N. D	$44 \pm 1.6$

# 表6 農産物

試料番号	採取	種 類	生重量	灰分		放 射 能 濃	度(Bq/kg生)	
四八十田 夕	年 月 日	生 炽	kg	%	Cs-137	K-40	Be-7	全 β
10942	11.12.08	だいこん	4.0	0.73	N. D	$92 \pm 0.64$	N. D	$89 \pm 2.0$
10937	11.12.08	ほうれん草	4.0	1.58	N. D	$210 \pm 1.3$	N. D	$173 \pm 5.0$

# 表7 か つ お

試料番号	採取	生重量	灰分		放 射	能農度(Bo	l/kg生)	
<b></b>	年 月 日	kg	%	Cs-137	Cs-134	K-40	Ве-7	全 β
10201	11.05.09	4.0	1.31	$0.60 \pm 0.018$	$0.40 \pm 0.016$	$130 \pm 0.85$	N. D	$120 \pm 4.0$

表 8 空間放射線量率

測定生	F 月	モニタリ	リングポスト	(nGy/h)
侧 化 1	上 万	最大値	最小值	平均值
平成23年	4月	41	21	25
	5月	41	21	26
	6月	45	21	27
	7月	51	21	25
	8月	44	21	25
	9月	50	21	25
	10月	57	22	26
	11月	39	22	26
	12月	50	22	26
平成24年	1月	45	22	26
	2月	58	21	27
	3月	47	22	27
年 間	値	58	21	26

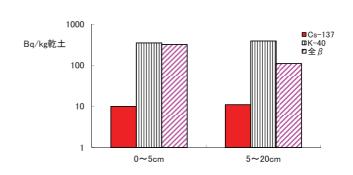


図1 土壌中の放射能濃度

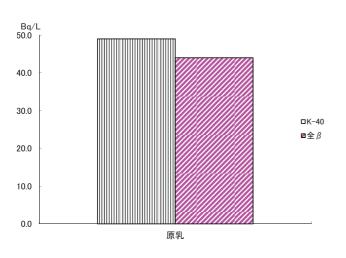


図2 牛乳中の放射能濃度

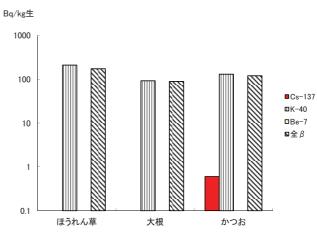


図3 農水産物中の放射能濃度

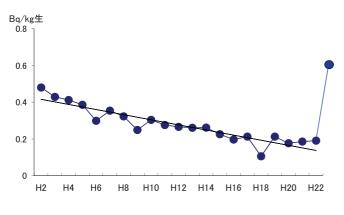


図4 かつお中の137Cs濃度の推移

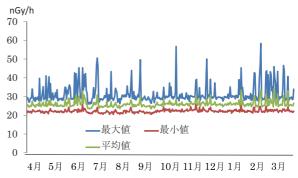


図5 空間放射線量率